



テート美術館 YBA & BEYOND
世界を変えた90s英国アート

「テート美術館 — YBA & BEYOND 世界を変えた90s 英国アート」 Vaundy が公式テーマソングを書き下ろし

本展 SPOT 映像を公開—一部音源を先行解禁。 “UK90's”の熱狂を音で導く。



国立新美術館（東京・六本木）にて 2026 年 2 月 11 日（水・祝）より開催する「テート美術館 — YBA & BEYOND 世界を変えた90s 英国アート」の公式テーマソングを、マルチアーティスト Vaundy が書き下ろしました。本展は、テート美術館のコレクションを中心に、1990 年代後半から 2000 年代初頭までの英国で起こったアートの革新を約 60 名の作家・約 100 点の作品で多角的に辿る大規模展です。

本日、本展の世界観を凝縮した SPOT 映像を公開。映像内では、Vaundy による公式テーマソングの一部音源を先行してお聴きいただけます。90 年代の英国のアートが、音楽やサブカルチャー、ファッショントークンの熱狂と共に鳴しながら拡張していく時代の空気を現代へと接続し、本展の導入を担う一曲として完成させました。

■ 公式テーマソング：ロンドンでの表現を重ねてきた Vaundy が書き下ろし

2025 年にロンドンのテート・モダン (Tate Modern) から歌唱パフォーマンスを届けた実績を持つ Vaundy が、本展の公式テーマソング「シンギュラリティ」を書き下ろしました。あわせて、本展アンバサダーの齋藤飛鳥が、公開された SPOT 映像のナレーションを担当しています。ジャケット写真には本展にも作品が展示され、90 年代の英国美術に決定的な影響を与えた多くの若手作家を育ててきたマイケル・クレイグ=マーティンの作品を使用。アートと音楽が交差するビジュアルとともに、楽曲は展覧会開幕日である 2026 年 2 月 11 日（水・祝）に配信リリース予定です。

ロンドンの「Old Royal Naval College（旧王立海軍学校）」を舞台に収録した「Vaundy LIVE in London」(Vaundy WOWOW original live Special 第 2 弾) の実施や、Abbey Road Studios でのレコーディングを行った楽曲の発表など、現地ロンドンと接続した表現を重ねてきた Vaundy。本展が描く UK90's の熱気を、Vaundy ならではのサウンドで鮮やかに鳴らします。

【タイアップ表記】

「テート美術館 — YBA&BEYOND 世界を変えた 90s 英国アート」公式テーマソング

【楽曲情報】



シンギュラリティ

アーティスト：Vaundy

タイトル：シンギュラリティ

作詞・作曲・編曲：Vaundy

リリース：2026年2月11日（水・祝）配信リリース予定

配信予約はこちら：https://lnk.to/_singularity

【予告 SPOT 映像】

<https://youtu.be/rMJFBmv9sAo>

■ Vaundy コメント

テートモダンへはイギリス滞在時によく足を運び、1人ゆっくりと絵を描いたりなど心地いい時間を過ごした場所のひとつです。

膨大な収蔵数とその作品ごとの技法や表現を目の当たりにして、時に打ちのめされながらも刺激をたくさんもらいました。

「シンギュラリティ」は時代や場所を問わず、すべてのものづくりへの愛を表した曲です。
ものづくりを通して特異点への旅をする。その表題に相応しい曲になったと思います。

■ Vaundy プロフィール

Vaundy（バウンディ）。25歳。

作詞、作曲、アレンジを全て自分でこなし、デザインや映像のディレクション、セルフプロデュースも手掛けるマルチアーティスト。2019年春頃からYouTubeに楽曲を投稿開始。

「東京フラッシュ」「不可幸力」など、耳に残るメロディーと幅広いジャンルの楽曲で、瞬く間にSNSで話題となる。デビュー以降、サブスク令和時代の象徴的な存在として注目を集めしており、17曲が1億回再生を突破、日本ソロアーティスト1位の記録を打ち出している。

2025年春現在、サブスクリプション・YouTubeのトータル再生数は、95億回以上を突破。リリース配信楽曲は長期にわたりチャートインし、CM、ドラマ、映画、アニメなど各方面でのタイアップ曲に起用されている。

活動の幅は多岐にわたっており、「逆光」(Ado)、「透明になりたい」(平野紫耀/Number_i)、「おもかげ」(milet×Aimer×幾田りら)など、楽曲提供及びプロデュースでその手腕を余すことなく発揮。菅田将暉「惑う糸」や、自身の作品「僕はどうしてわかるんだろう」「タイムパラドックス」「風神」等では、ミュージックビデオの監督も務め、マルチな才能を発揮している。

ロンドンで収録した劇場版「Vaundy LIVE in London」(WOWOW)も全国劇場で公開し、大きな反響を集めている。

開催したライブは全て即日完売。自身初となる日本武道館2days公演は26000人を動員、2023年秋開催初の全国アーナツアー(6都市12公演)は150,000人を動員。2024年秋にはアルバム「replica」を引っさげた全国10都市20公演アーナツアーは約250,000人を動員。2025年7月からはオフィシャルサイト会員限定 全国13都市28公演ホールツアーを開催。2026年には自身最大規模 男性ソロアーティスト史上最年少記録となる4大都市ドームツアーを開催、全公演完売している。

唯一無二の天性の声、ジャンルに囚われない幅広い楽曲センス、破格の才能を感じさせる多面的な音楽表現で、ティーンを中心にファンダムを急速に拡大し、令和の音楽シーンを牽引している。

【Vaundy Official Website】 <https://vaundy.jp/>

【Vaundy Official YouTube】 <https://www.youtube.com/c/Vaundy/videos>

【Vaundy Official Instagram】 https://www.instagram.com/vaundy_engawa/

【Vaundy Official X】 https://x.com/vaundy_engawa

【Vaundy ART Work Studio Members サイト】 <https://member.vaundy.jp/feature/entry>

■マイケル・クレイグ=マーティンとは



プロフィール：

Michael Craig-Martin (マイケル・クレイグ=マーティン)

1941年、アイルランド・ダブリン生まれ。幼少期をアメリカで過ごし、1960年代にイエール大学で学ぶ。1970年代以降の英国コンセプチュアル・アートを代表する存在。言葉や意味、知覚の関係を問い合わせ直す姿勢を一貫して貫き、80年代以降は日常的なモチーフを大胆な線と鮮烈な色彩で描く独自の表現を確立した。ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ

ジで教鞭をとり、後にヤング・ブリティッシュ・アーティスト（YBA）と呼ばれる作家たちに大きな影響を与えるなど、1990年代以降の英国美術・カルチャーの形成に深く関わってきた。現在はロンドンを拠点に活動。

■ 観覧料・前売券情報

- 観覧料（税込）：一般 2,300 円、大学生 1,500 円、高校生 900 円
- 前売券（税込）：一般 2,100 円、大学生 1,300 円、高校生 700 円
- YBA & BEYOND トートバッグ付前売券：4,870 円

※中学生以下は入場無料

※障害者手帳をご持参の方（付添の方 1名を含む）は入場無料

※3月25日（水）～3月27日（金）は高校生無料観覧日（学生証の提示が必要）



YBA & BEYOND トートバッグ

一般前売券に加え、河村康輔がデザインしたラインナップ・ビジュアルが反映された〈YBA & BEYOND トートバッグ付前売券〉（数量限定）も販売中。詳細は展覧会公式サイトのチケットページをご参照ください。

前売券購入・チケット情報詳細はこちら：<https://eplus.jp/ybabeyond/>

■ 音声ガイド情報

本展アンバサダーを務めるのは、細野晴臣と斎藤飛鳥。



音声ガイドをはじめ、様々な形で本展の見どころや世界観をナビゲートします。

＜音声ガイド＞

展覧会会場入り口にて販売。

料金：650 円（税込）

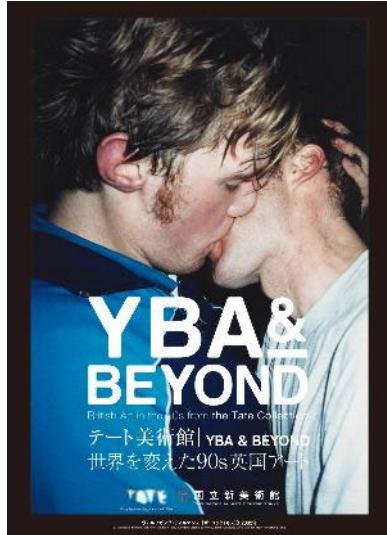
＜音声ガイドの仕様について＞

- ・本サービスはご自身のスマートフォンから二次元コードにアクセスし WEB ブラウザでお楽しみいただけます。ご利用を希望される場合は、スマートフォン、イヤホン等を忘れずにご持参ください。

■ YBA とは

1988年7月、ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジで学んでいたダミアン・ハーストは、ロンドン東部の倉庫街で学生や卒業生の作品を発表する展覧会「フリーズ」展を企画しました。ハーストや同世代の作家たちは、全く新しい視点で素材を選び、制作して発表の機会を積極的に開拓していったのです。1992年に『アート・フォーラム』誌上で美術史家のマイケル・コリスは彼らを「ヤング・ブリティッシュ・アーティスト（YBA）」と呼び、サーチ・ギャラリーで開催された同名の展覧会によりYBAという言葉は一般に広がっていきました。YBAの作家たちの自由な活動によって、90年代の英国のアートシーンは世界的な注目を集めようになったのです。

■ 開催概要



展覧会名： テート美術館 — YBA & BEYOND 世界を変えた90s 英国アート
英語名： YBA & BEYOND: British Art in the 90s from the Tate Collection

【東京展】

会期： 2026年2月11日（水・祝）～2026年5月11日（月）

会場： 国立新美術館 企画展示室2E（東京都港区六本木7-22-2）

休館日：毎週火曜日

※ただし 2026年5月5日(火・祝)は開館

開館時間：10:00～18:00

※毎週金・土曜日は 20:00まで

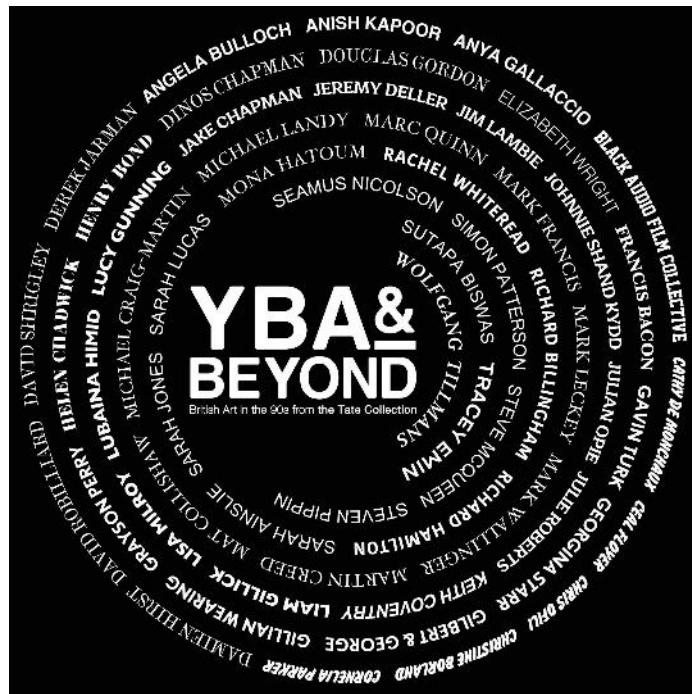
※入場は閉館の30分前まで

主催： 国立新美術館、テート美術館、ソニー・ミュージックエンタテインメント、朝日新聞社

協力：日本航空、ヤマト運輸

後援：ブリティッシュ・カウンシル、J-WAVE

一般のお問合せ：050-5541-8600（ハローダイヤル）



作家一覽：

| | | | |
|------------------------|---------------|-----------------|----------------|
| アンジェラ・ブロック | エリザベス・ライト | ジュリー・ロバーツ | レイチェル・ホワイトリード |
| アニッシュ・カプア | フランシス・ベーコン | キース・コヴェントリー | リチャード・ビリンガム |
| アニヤ・ガラッチョ | ゲイリー・ヒューム | リアム・ギリック | リチャード・ハミルトン |
| ブラック・オーディオ・フィルム・コレクティヴ | ギャヴィン・ターク | リサ・ミルロイ | サラ・エインズリー |
| キャシー・ド・モンショー | ジョージナ・スター | ルベイナ・ヒミド | サラ・ジョーンズ |
| シール・フロイヤー | ギルバート & ジョージ | ルーシー・ガニング | サラ・ルーカス |
| クリス・オフィリ | ジリアン・ウェアリング | マーク・クイン | シーマス・ニコルソン |
| クリスティン・ボーランド | グレイソン・ペリー | マーク・フランシス | サイモン・パターソン |
| コーネリア・パーカー | ヘレン・チャドウィック | マーク・レッキー | スティーヴ・マックイーン |
| ダミアン・ハースト | ヘンリー・ボンド | マーク・ウォリンジャー | スティーヴン・ピピン |
| デイヴィッド・ロビリヤード | ジェイク・チャップマン | マーティン・クリード | スタバ・ビスワス |
| デイヴィッド・シュリグリー | ジェレミー・デラー | マット・コリショウ | トレイシー・エミン |
| デレク・ジャーマン | ジム・ランビー | マイケル・クレイグ=マーティン | ヴォルフガング・ティルマンス |
| ディノス・チャップマン | ジョニー・シャンド・キッド | マイケル・ランディ | |
| ダグラス・ゴードン | ジュリアン・オピー | モナ・ハトウム | |

*掲載順：ファーストネーム ABC 順

*巡回情報

【京都展】

会期：2026年6月3日（水）～2026年9月6日（日）

会場： 京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ（京都府京都市左京区岡崎円勝寺町 124）

主催： テート美術館、ソニー・ミュージックエンタテインメント、ABCテレビ、キョードーエンタテインメント、
京都新聞、FM802/FM COCOLO、京都市
協力：日本航空、ヤマト運輸
後援：ブリティッシュ・カウンシル

展覧会公式サイト：<https://www.ybabeyond.jp/>

X : @ybabeyond <https://www.instagram.com/ybabeyond>

Instagram : @ybabeyond <https://x.com/ybabeyond>

Facebook : @ybabeyond <https://www.facebook.com/ybabeyond/>

Threads : @ybabeyond <https://www.threads.com/@ybabeyond>

※京都展は東京展と一部展示内容が異なります

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

テート美術館 — YBA & BEYOND 広報事務局（株式会社 OHANA 内）

E-mail : ybabeyond@ohanapr.co.jp

楽曲に関するお問い合わせ先

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 平林 満己

E-mail : mitsuki.hirabayashi@sonymusic.co.jp